

はじめに

わたしたちの大切な場所「オフィス」

1日24時間のうち、オフィスで過ごす時間は、どれくらいあるでしょうか。
仮に8時間勤務なら、一日のうち実に30%以上をオフィスで過ごすことになります。
もちろん、わたしたちは寝る時間が必要です。睡眠時間を8時間とすれば、起きている時間は16時間。つまり、1日の約半分をオフィスで過ごすことになります。
あらためて、オフィスにいる時間の多さに驚かされます。
オフィスは、わたしたちが充実した仕事と快適な一日を過ごすための「大切な場所」です。

オフィスの「機能性」と「うるおい」

オフィスは、「仕事をする場所」であると同時に社員間のコミュニケーションの場でもあります。そういう意味では、社員の「社交場」といえます。
「社交場」では、社員の誰もが、いつも明るい笑顔でいてほしいものです。
オフィスは、おもに仕事の効率性や合理性という「機能性」に重点を置きがちです。
しかし、機能性ばかりを追求するオフィスは、暖か味がなく「うるおい」がありません。
オフィスは、社員間のコミュニケーションをよくするために「うるおい」も必要です。
「機能性」と「うるおい」が、うまく融合したとき、オフィスに活気が生まれます。

弊社は、仙台市を拠点とした1977年創業の老舗会社であり、これまで多くのオフィスつくりのお手伝いをさせていただきました。

この経験をもとに、このたび「快適なオフィスのつくり方」という小冊子を作成しました。ぜひ、空いたお時間に自を通していただき、みなさまの快適なオフィスつくりに役立てていただければ幸いです。

3つのポイントで、オフィスが変わる!(機能編)

① 明快な動線がありますか。

お店には、必ず「動線」があります。
明快な動線があるために、お客様はスムーズな流れで、陳列された商品を見るることができます。また、明快な動線は店内の混雑を避け、非常時は安全性を確保する働きもあります。
オフィスにも、仕事の効率性や人の動きをスムーズにする「動線」が必要です。
あらためてオフィスの「動線」を確認してみて下さい。
安全な通路を確保するための「動線」は、しっかり確保されていますか。
知らず知らずのうちに障害物などはありませんか。常に意識しておく必要があります。
入居時には、適切だった「動線」も社員が増えた、あるいは、コピー機などを設置したことで、微妙に変化しています。

② 地震対策は大丈夫ですか。

平成23年3月11日に起きた東日本大震災は、私たちの脳裏に深く刻まれています。
この大震災は、14時46分に発生したため、オフィス内で遭遇した方も多いかったはずです。
日ごろの地震対策は、十分に活かされたでしょうか。
デスクトップのパソコンやコピー機、あるいは収納家具は倒れなかつたでしょうか。
固定方法や配置の見直しをするだけでも防げた被害もあったはずです。
再度、見直しをしてみてはいかがでしょうか？

③ オフィスは「安全」ですか。

人の出入りが自由なビルがあります。日中は「女性社員のみ」というオフィスも多いのではないでしょうか。オフィスの「安全」を考えたセキュリティーは大丈夫ですか。
入口に自動施錠のカギを設置する、あるいは、緊急時に応える防犯用品を準備するなど、最低限の「安全」配慮はできていますか。オフィスにおける安全確保は、タダではないのです。

3つのポイントで、オフィスが変わる！(うるおい編)

【Q】オフィスの彩（いろどり）はいかがですか。

レイアウトを工夫すれば、快適なオフィスはつくれますが、さらに+αの工夫で、より快適なオフィスをつくることができます。

そこで、オフィスにカラーデザインを取り入れてはいかがでしょうか。

「赤」は心を活発にする色彩です。「青」は心を落ち着かせる効果がある色彩です。「オレンジ」は快活・陽気・楽しさ。「緑」は、安心感や癒しを与える効果があります。会議室の基調色を「赤」にすれば、活発な意見が交わされる会議になるでしょう。

各部屋の用途にあわせて、パーティションや床、オフィス家具の色彩を変えることで、メリハリのある、より快適なオフィスつくりができます。

【Q】オフィスに社員が集う場所がありますか。

社員のだれもが集う場所がオフィスには必要です。そういう場所があることで、社員にコミュニケーションが生まれます。会議をする場所、昼食の場所、なんでも良いのです。オフィスに社員が集う場所は確保されていますか。

たとえば、空いている場所に新聞・雑誌があるマガジンラックを置けば、休憩時間に自然と社員が集まる場所へと変わります。ちょっとした工夫で社員が集い、コミュニケーションが生まれます。

【Q】花や観葉植物がありますか。

オフィスに花や観葉植物があれば、「心が和み」ます。

会社は、利潤追求の目的集団ですから、オフィスに効率性や合理性を求めるのは当然です。しかし、物事には、適度なアクセントも必要です。オフィスにちょっとしたアクセントである花や観葉植物をおくことを考えてみてはいかがでしょうか。

社員の心に「やさしい和み」が芽生えるはずです。

「やさしい和み」が、社員の心にゆとりを生み、仕事をよりスムーズにさせるはずです。

以上、「快適なオフィスのつくり方」について簡単にまとめてみました。

わずか6つのポイントです。ぜひ、参考にしてみてください。

弊社では、オフィス移転やレイアウト変更、オフィス什器備品の販売も取り扱っております。オフィスに関することなら、何なりとお申し付けください。